

進路だより

令和8年1月9日
兵庫県立姫路聴覚特別支援学校
進路指導部 発行

新しい年が始まりました。この1年が皆さんにとってより充実したものとなるよう、進路の面からサポートしていきたいと思います。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

さて、進路に関する行事では、昨年10月に高等部1年生全員と2年生の就職希望者に対する就業体験を行い、12月に卒業生の体験談を聞く会を開催しました。今回の進路だよりは、この2つの行事について報告します。

① 10月 就業体験のまとめ（高1・高2）

今回の就業体験は個別面談の希望をもとに実習先を開拓し、下記の8ヶ所の事業所で受け入れて頂きました。それぞれの実習先から指摘された評価や課題を、将来社会人として働くためのアドバイスとして今後に活かして欲しいと思います。

| 就業体験先 | 住所 | 実習内容 |
|----------------|------|--------|
| はりまふくろうの家 | 姫路市 | 調理 |
| （株）エス・アイ | 姫路市 | PC・軽作業 |
| ウエルシア日山店 | たつの市 | 店舗業務 |
| グローリー（株） | 姫路市 | 製造 |
| （株）エスコアハーツ | 稻美町 | 製造 |
| （株）東豊精工 | 豊岡市 | 製造・軽作業 |
| 三菱重工（株）高砂事業所 | 高砂市 | 清掃業務 |
| Shake Hands 大阪 | 大阪市 | PC作業 |



（株）エス・アイ



ウエルシア日山店



三菱重工高砂



（株）東豊精工

※就業体験とは？

生徒のみなさんが企業や事業所で1週間の職場体験（インターンシップ）を行う、特別支援学校独自の行事です。この体験を通して、「自分にはどのような仕事が向いているのか」などを真剣に考え、将来の進路選択に生かしていく大切な機会となっています。

生徒のみなさんの感想(抜粋)

- やりたいことをたくさん経験できました。自分のペースで動画編集やアニメーション作成を学ぶことができました。進路の悩みが一つ解決できたように思います。
- 親や先生、大人が働くのは当たり前と軽く思っていましたが、体験してみると「こんなに大変なんだ」「働いてもらえるから幸せなんだ」と感じました。反省会でたくさんアドバイスをいただき、自分の課題をひとつずつ達成したいと思いました。
- 主に品出しをしました。種類や量がかなり多く、重い商品もあり本当に大変でした。分からることは従業員さんに聞きながらやりましたが、バーコードを読み取ることで商品の置き場が分かるという優れモノの機械もありました。お店ならではの工夫もたくさんあり、面白かったです。
- 作業方法など手話で分かりやすく教えていただいたのでものすごく助かりました。自分が作った部品が実際に使われると聞いて不安でしたが、自分を信じたいです。普段入れないような場所を紹介してもらったり、もったこともないお金を見たり、学校では味わえない色々な経験をさせていただき、いつもと全く違う一週間でした。

就業体験先の評価(抜粋)

- 礼儀正しく真面目に作業できた。ものづくりは品質が重要で、「やったあとの確認」が大切ということを指導した。
- 仕事に熱心になりすぎることがあり、定期的に確認する必要があった。
- 一度聞けば間違いなく最後まで作業できる。本人の言いたいことがなかなか通じないことがあり、コミュニケーションの面で心配である。
- 計量作業は問題なくできた。緊張しすぎることもなく、笑顔で体験ができていた。
- 一緒に楽しく作業できたが、進捗状況の確認など、周りが理解して接することが課題。
- 聞こえにくかったり理解できなかつたりした時に、自ら発信することが苦手である。仕事を続ける体力も身に付けてほしい。
- 表情がもっと豊かになれば、周りとのコミュニケーションも上手くなると思う。
- 作業前にただ待っているだけの時があり、準備の面で積極性にムラがあると感じた。

受け入れ企業様へ

就業体験を受け入れて頂いた企業や作業所の皆様には、業務ご多用にも関わらず懇切丁寧なご指導をいただきまして誠にありがとうございました。今回ご指摘頂きました課題をしっかりと受け止め、生徒と共にこの先の学習活動に取り組んでいきたいと考えています。今後とも本校の就業体験にご支援、ご理解を賜りますよう、改めてお願ひ申し上げます。

生徒のみなさんへ

今回の体験を終えたみなさんには、進路担当の立場からお願ひが4つあります。

① 『感謝の気持ち』を大切にしましょう。

今回体験ができたのは全て、事業所の方々のおかげです。就業体験をお願いしても断られることが多い中で、大切な時間を使ってみなさんを受け入れて下さった**事業所の方々への感謝の気持ち**を忘れず、この後の学校生活を過ごして下さい。

② 『授業』を大切にしましょう。

実習先の事業所から「実習日誌がきちんと書けなくて困る」とよく指摘されます。社会に出ると、手話以外にも様々なコミュニケーション手段を併用していく必要があるますが、なかでも特に、**文章力(特に漢字の読み書き、敬語など)が重要**になってきます。日々の授業を大切にして、しっかりと文章力を身につけていきましょう。

③ 『体調管理』を大切にして下さい。

今回も、日程を一部欠席した人がいました。社会に出ると、**体調管理は自分の責任**となります。過去には、欠席日数を理由に採用を断られた会社もあります。就業体験の時だけではなく、普段から**遅刻や欠席をなくすよう努力**していきましょう。

④ 『家族の人としっかり相談』して下さい。

みんなの進路を実現するためには、**家族の皆さんの応援が必要**です。自分の進みたい道について、家族の人と**しっかり相談**しておいて下さい。

② 12月 卒業生の体験談を聞く会

12月19日(金)に「卒業生の体験談を聞く会」を開催しました。講師の方々からは、学生時代の思い出や進路決定の際のエピソード、社会人としてのアドバイスなどの大変貴重なお話をいただきました。今回の講師は次の3名の方々です。

- ・ 橋村 日向 さん (株式会社エスコアハーツ 勤務)
- ・ 梅木 和記 さん (グローリー株式会社 勤務)
- ・ 柳谷 紗 さん (兵庫教育大学大学院 在学)

なお今回はご多用の中、(株)エスコアハーツ並びにグローリー(株)の担当者の皆様方にもご臨席を賜り、誠にありがとうございました。また、保護者の皆様にも多数ご参加頂きました。ご参加頂きました皆様方に心より感謝申し上げます。

体験談Ⅰ 橋村 日向 さん

本校高等部普通科卒業後、エスコアハーツ入社(3年目)。ビジネスサービス部で伝票や請求書、保証書などの発行・発送業務を担当。趣味はご当地グルメ、散歩など。

<学校生活と進路について>

保育相談部から高等部まで本校に在籍。部活は中学部から高等部卒業まで陸上部だった。はじめは大学進学も考えていたが、高1、高2と就業体験を重ねていく中で就職希望に変わった。高2の10月の就業体験でエスコアハーツさんにお世話になったとき、先輩方に

優しく指導してもらったことで、ここに就職したいという気持ちになり、高3の9月に入社試験を受けて内定を頂くことができた。

＜今の仕事について＞

エスコアハーツは給湯器を作っているノーリツの特例子会社で、障害に対する配慮が手厚い。普段は口話に加えて筆談も併用し、仕事の連絡などは電話では難しいので、主にメールで対応している。会社でUDトークを入れてもらい、会議などにも普通に参加している。その他、社内の出入り口に衝突防止のミラーを設置する活動を行ったり、職場の同僚向けに手話講習会を開いたりしている。自分の仕事はお客様の大切な情報を扱うことが多いので、毎日しっかり確認しながら業務にあたっています。

＜後輩へのアドバイス＞

- ①時間や提出期限を守る。→ 社会人として、当たり前のこと。
- ②指示されたことを自分で短くまとめて、メモをする。
- ③優先順位をつける。→ 仕事が遅くなると、周りの人に迷惑をかけてしまう。
- ④敬語や丁寧語など、言葉遣いに気をつける。
- ⑤話を最後まできちんと聞く。分からぬ場合には、分かるまで質問をする。

体験談Ⅱ 梅木 和記 さん

本校高等部普通科卒業後、グローリー入社（14年目）。製造部門で出納システムの組み立て・検査などを担当。趣味はゴルフ（昨年ホールインワン達成）と旅行。

＜学校生活と進路について＞

中学部と高等部では野球部に所属、高3では主将を務めた。進路は、はじめスポーツ関係の仕事を考えていたが、会社見学をきっかけに愛知県の自動車メーカーと姫路のグローリーに興味を持った。最後までどちらを希望するか迷ったが、独自技術を開発するなど新事業を開拓していく会社の姿勢に心を打たれて、グローリーに入社することを決めた。

＜今の仕事について＞

グローリーは通貨処理機の世界で最大のシェアを誇っている会社。自分は組み立てのスペシャリストで、製造部で組み立てスピードはNo.1。新紙幣の発行時には業務がとても忙しかったが賞与もアップした。仕事をしていく上で、はじめはコミュニケーションにとても苦労したが、ゆっくりと分かりやすく話すことなどを心がけたことで、相手の人ともお互いに少しずつ慣れてきて、内容がしっかりと伝わるようになった。今は仕事にやりがいを感じています。

＜後輩へのアドバイス＞

- ①やればできる、と自信を持つ。→ 聞こえる人の中でも、“無理”と思わずに。
- ②自分に合った仕事を見つける。
- ③コミュニケーションには苦労すると思うが、少しずつ慣れていくべきは良い。
- ④指示されたことを分かったふりはNG。→ 作業ミスにつながってしまうので。
- ⑤ストレスを溜めない。→ 休日はリフレッシュをする。

体験談Ⅲ 柳谷 紗さん

本校中学部卒業後、筑波大学附属聴覚特別支援学校、筑波技術大学、民間企業での勤務を経て現在兵庫教育大学大学院に在学中。趣味は映画鑑賞、スポーツ観戦、食べること。

＜学校生活と進路について＞

中、高、大とバレー部に所属。進学先は迷ったが、教師になる夢を実現するために本校中学部から筑波大学附属聴覚特別支援学校に進学。ここは全国から生徒が集まる学校で、手話に方言があることなどで色々とカルチャーショックを受けたが、コミュニケーションの幅が広がった。大学は筑波技術大学に進学。大学では手話での授業が基本だが、手話が使えない外部講師の先生の授業の時には手話通訳を頼んだり、パソコンでノートテイクをお願いしたりしていた。在学中にバレー部の先輩が働いているLIXIL（リクシル）という会社で就業体験を経験し、卒業と同時に就職した。

＜民間企業で勤務＞

LIXILは、トイレやお風呂、キッチンなどを製造している総合住宅設備メーカー。私の仕事は商品開発の支援で、メールや筆談で仕事の依頼を受けたり、スマホの音声認識アプリを活用していた。また、わからないことはすぐ確認することを心がけていた。

＜夢に向かって＞

依頼された仕事に取り組むことで人から感謝されたり、後輩社員に指導したりという経験が増えてくる中で、昔からの夢である先生になりたいという思いが強くなり、特別支援学校の免許を取るために会社を退職。現在、兵庫教育大学の大学院で勉強中。授業ではパソコンとiPadが活躍。iPadには講義資料やパソコンで文字起こしてもらったデータなどを映して勉強している。新しい環境に飛び込む時はいつも不安で、緊張もする私ですが、後輩のみなさんの「これから」を、心から応援しています！

＜後輩へのアドバイス＞

- ①自分から情報を収集する。
- ②自分で、自分が学びやすい環境にする。
- ③自分で、自分が働きやすい職場にする。
- ④困ったことがあったら相談できる人を見つけよう。

} これらは大学や職場など、どこに行っても大切です。

生徒の感想より(抜粋)

- 3名の先輩が、みなさん工夫してコミュニケーションを取られていることを知り、私も自分が分かりやすいようにするための工夫をたくさん考えようと思いました。
- 先輩方の話を聞いて、学校生活でも時間を見て動くことや遅刻しないようにすることなどに気を付けて行動していきたいと思いました。
- 卒業生のみなさんから健聴者とのコミュニケーションの方法について色々と聞くことができました。みなさんそれぞれ工夫されていて、待っているだけではなく、自分から積極的に行動していくことが大切だと教わりました。

- 自分もこれから将来何をするか考えると不安で、やりたい仕事ができるかどうかを考える毎日ですが、これから自分がやるべきことを目標として頑張って行きたいです。
- 仕事をされている先輩方が楽しそうに話をされているのを見て、自分に合ったところで働けているんだろうなと思いました。私も来年から働くので、今日教えて頂いた大切なことを覚えておきたいと思いました。
- 私は進学希望ですが、先輩の話を聞いて、みんな同じような悩みを持っているんだと安心しました。身近に進学する人が少ないのですごく不安な毎日でしたが、おかげで少し気持ちが楽になりました。
- 講演後の懇談会で、先輩方が私たちを応援して下さって、とても心強かったです。

保護者の皆様の感想より(抜粋)

- 卒業生の皆さんがそれぞれ“やりがい”を見つけて頑張っておられる姿を見てることができ、子どもにも自信を持って好きな道に進んでほしいと思いました。
- 皆さん卒業後の色々な困難を乗り越えて頑張っておられるのが素晴らしい。一度進んだ方向を変えるのは決して遠回りではありません。ぜひご自分の夢を叶えて下さい。
- 子どもがまだ小さいので進路についてはまだあまり考えていなかったのですが、みなさんのお話を聞いてこんな進路があるんだなと色々知ることができて良かったです。
- 皆さんのが色々な悩みを自分の工夫や周囲の協力で解決されていることを聞いて、子どもにも自分ができないことなどを自分で周りに伝えられる力を身につけていってほしいと思いました。自分の子の未来像が少しあわかった気がします。
- 子どもは障害が重いので、社会で他者とやっていけるか気がかりが強かったのですが、不安が少しなくなり、前向きな気持ちになりました。ありがとうございました。
- 分からないことをそのままにしないことが大事だと思いながら、子どもと関わってサポートしていきたいと思います。ありがとうございました。

卒業生の皆様、お忙しい中のご講演、本当にありがとうございました。ご協力頂きました企業の皆様方にも深く感謝申し上げます。在校生の皆さんも今回の先輩方のアドバイスを胸に刻んで、就職や進学に向けて日々の学校生活を充実させていってほしいと思います。

今年度末までの進路行事

- ・1月18日（日）高等部進学希望者 進研模試（1、2年）
 - ・2月～3月中旬 就業体験（高等部2年生・随時）
- いよいよ高等部2年生も卒業後の進路に向けての動きがスタートします。